

柿渋・べんがら塗料

かきべんの特徴

- ◎健康によい天然品を厳選して配合した塗料です。
- ◎水でうすめて塗装できます。
- ◎2度塗り3度塗りで風合よく仕上がります。
- ◎木の素地の通気性が保たれます。例えば木に塗布した時、木の呼吸を妨げません。

かきべんの施工

屋 外

- ① 塗装しようとする木部を十分清掃し塗装前には十分乾燥させて下さい。天気は2、3日晴が続く頃をお選び下さい。
- ② 塗料を完全によく振り混ぜた後、ペンキ用ポットに取り出し水でうすめます。10㎡程度の対象物の場合、塗料500mlに水100～300mlを加えてよくかき混ぜます。これを刷毛もしくはローラーで塗装します。色濃く塗装したい場合は1日おいて2度塗り、あるいはさらに3度塗りをして下さい。
- ③ 施工後の仕上りは、対象物の種類や、同じ木部でも木の材質によって大きく変わります。必ず試し塗りをして色目や塗料のうすめ方についてお確かめ下さい。

屋 内

- ① 塗装しようとする木部を十分清掃し塗装前には十分乾燥させて下さい。
- ② 塗料をよく振り混ぜた後、ペンキ用ポットに取り出し水でうすめます。10㎡程度の対象物の場合、塗料500mlに水100～500mlを加えてよくかき混ぜます。これを刷毛もしくはローラーで塗装します。
- ③ 塗り方は全体にサッと塗り、2度塗りで色ムラを無くして下さい。
- ④ 施工後の仕上りは、対象物によって大きく変わります。必ず試し塗りをして色目や塗料のうすめ方について確かめて下さい。
- ⑤ この塗料の特徴は例えば木に塗る場合、木目がみえるように仕上げる事ができる点です。このことも試し塗りでご検討下さい。

かきべん ご使用上の注意

- 容器をよく振り混ぜてからご使用下さい。柿渋成分は長期間放置するとゲル化してゼリー状に固化する場合があります。この塗料の場合、容器をふり動かしていると、ついには流動化して通常の塗料に戻ります。
- 冬期の気温の低い時の施工は好ましくありません。
- 塗装する時は部屋の換気をよくして下さい。(少量のエタノールが含まれています。)
- 塗料が皮膚に付着した場合、石鹼水で洗って下さい。
- 目に入った場合は十分に水洗し、医師の診断を受けて下さい。
- 毒性はありませんが、子供さんが飲んだりしないようご注意下さい。万一飲み込んだ場合は、医師にご相談下さい。
- 塗装用具の洗浄：一般の厨房用洗剤で洗って下さい。温水で洗うとさらに綺麗に落とせます。

かきべん を廃棄するとき

危険物は含まれていませんので、庭の土の上に散布しておく、そのまま土に戻ります。



天然ワックス

モリベンイチロウの特徴

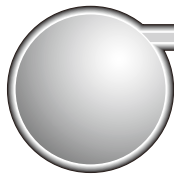
- ◎健康によい天然品を厳選して配合したワックスです。
- ◎塗布後、2～3時間で乾きますが一晩放置する方が安心です。
- ◎2度塗り3度塗りで、ワックスの撥水効果が倍増します。
- ◎木の素地の通気性が保たれます。

モリベンイチロウの塗布方法

布地にロウをとり、木面にすり込んで行きます。あまり多く塗りすぎると、しばらくベタつきますのでご注意ください。塗布後一晩放置して乾拭きすると、風合よく仕上がります。半年に1回ほどの割合でワックス掛けをしていただくと、何時までも健康で清潔な床が保たれます。木の戸や家具へのワックス掛けも同様です。

モリベンイチロウ 300g入りで6～8帖ほどの床をワックス掛けすることが出来ます。





柿 渋 と は

KAKISHIBU

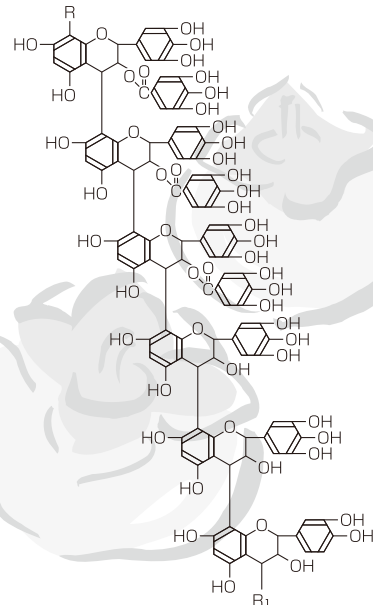
「柿渋」とは、渋柿の果実をしぼり、その果汁を醗酵させ、そして数年間熟成させたもので、中身は右の化学構造式に示されるような柿渋タンニンの水溶液です。柿タンニンはお茶や赤ワインに含まれているポリフェノールの仲間です。分子量は15000程度の水溶液の高分子で、乾燥すると薄膜になる性質を持っています。

古くから日本では木材の防腐および紙や絹や木綿などの織物の防水や強度を高めるのに役立つものとして使われてきました。

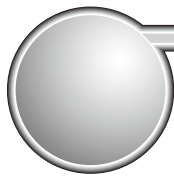
この柿タンニン（ポリフェノール）の構造式から明らかのように、フェノール基がシックハウス成分のホルマリンやトルエン等を分子内に閉じ込め無毒化します。新しい家具や壁から揮発するホルマリン等を防ぐのに、この柿渋を塗布すると絶大な効果があります。

お茶に含まれているカテキンもポリフェノールの仲間ですので、お茶と同じく、この柿渋を飲用すると高血圧の予防にもなり、健康に役立つことが認められてきました。日本古来の伝承文化の確かさが、今、科学の眼で一つずつ明らかにされています。

柿タンニンの構造式



(松尾・伊藤ら1977)



べんがら と は

BENGARA

「べんがら」*は有史以前から、人類になじみ深い赤色顔料です。地球の成分そのものは鉄であり、地表に出た鉄分が酸素と結合して生じた酸化鉄粒子、それが「べんがら」です。地球の地表に生存する人間や動物にとって、この酸化鉄「べんがら」が無毒・無害であることは言うまでもありません。

酸化鉄の結晶の形や大きさの違いで、黄・黄土・赤・紫・黒などの種々の顔料になるのです。これら酸化鉄顔料は、安心して化粧品やおもちゃの着色に使うことができます。またマグネタイト (Fe₃O₄) やマグヘマイト (γ-Fe₂O₃) は複写機や磁気テープ等エレクトロニクスの分野でも幅広く利用されています。このように酸化鉄は、現在に至るまで顔料その他多くの用途に、我々身近で幅広く使われているのです。

*「べんがら」とはインドのベンガル地方で産出したことにちなんだ名称といわれ、古くは東南アジアや中国からの舶来品として我が国にもたらされて、この名がついたといわれています。